平成30年度 教育課程研究協議会「健康教育」

日時:平成30年10年10日(水)

会場:伊那市立西春近北小学校

題材名:体育館で地震がおきたら、どうするの?

授業学級: 2年ひのき組授業者: 小林 千景 教諭

参加者は約90名になりました。



安全教育研究テーマ

「災害から命を守る学習を通して 自他の命を大切にできる子どもの育成」 3ヵ年計画の1年目 ~管理面の強化と子どもと教師の意識付け~





地震の時、ガラスは、ライトは、登り棒はどうなるのか、予想して行動しようとしている姿がありました。

学級全体のあたたかな雰囲気や、友達の話をしっかり聞く姿から、命を大切にできる子どもたちだなと感じました。



安全な場所を自分で考え、さらに友達からのアドバイスも聞きながら、自分の命を守ろうとする子どもたちの姿がすばらしかったです。

- 少しケガをしても命を守ることが大切という意識が定着していてすばらしかった。
- ・教室では?体育館では?じゃ別の教室では?学校の外では?と地震への対応について広がりが出てくるきっかけになると思う。
- ・グループの友達と話し合って決めることで、自分以外の考えを聞くことができ、自分から動けない子も、友達から学ぶことができていたと思う。そういった子を気遣う姿も見られ、全体的に自分だけでなく、相手のことも考えて行動できていた。
- ・早く行動、早く判断することは、頭では分かっていても、実際に大人も動けないことも多いので、授業として体を動かしてやってみることが大切。
- ・低学年のうちから考える、判断する、命を守る行動をとることを積み重ねていくことが大事だと感じた。大人になっても命を大切にできる子どもたちになってくれそうで、この学習で自分や友達も大切にできる心が育ってきていると感じた。

STEELS STATE OF THE STATE OF TH

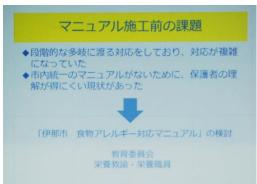
飯田市役所危機管理室次長補佐 後藤 武志先生から 命を守る事前対策の必要性について教えていただきました。

午後の部 研究協議会

テーマ「食物アレルギー対応マニュアル作成と課題について」

- ① レポート発表「伊那市学校給食 食物アレルギー対応マニュアルについて
- ~安全・安心な食物アレルギー対応に向けて~」 東春近小学校 竹沢 洋子栄養士





- 伊那市でのアレルギー対応について丁寧に対応されている現状とマニュアル作成への労力を 知ることができました。
- ・給食関係者だけでなく、保護者も含めて確認できる基準を検討して作る大切さを感じました。 ヒヤリハット事例について、担任の先生にも伝える必要があると感じました。
- ・完全除去、完全解除で徹底するなど、事故が起こらないよう対応することが大切だと思いま した。
- ・私達は日々おいしい給食をいただいていて、それが当たり前のようになっていますが、毎日緊張感を持って安全な給食を提供してくださっていることをちゃんと知らなくてはいけないと感じています。

② ロールプレイング「食物アレルギーアナフィラキシーが起こったら…」





- ロールプレイをしてみて、わかっているつもりでも流れでやると慌ててしまうことがわかった。何度も何度もやる必要を感じました。学校でもやってみたいと思います。
- ・養護教諭、学級担任、栄養教諭と様々な角度から意見を出し合い大変勉強になる時間でした。
- 各人の動きが体験のないものでもイメージしやすくて参考になりました。
- 自分で考え体を動かしてやってみるという点が非常に良かったです。

展示 保健指導や食育の指導資料を先生方のご協力によりたくさん展示することができました。 ありがとうございました。

















きゅうにゅう







